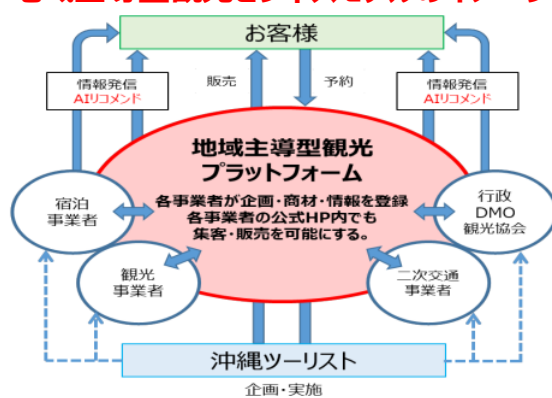


# 地域主導型観光プラットフォームに業態転換して事業再構築します！



## 地域主導型観光ビジネスモデルのイメージ



事業者名	沖縄ツーリスト株式会社
所在地	沖縄県那覇市
主な業種	旅行業 (生活関連サービス業、娯楽業)
事業概要	旅行事業、レンタカー事業、 保険販売事業
設立	1958年
資本金	155,100,000円
従業員数	335人
認定支援機関	株式会社琉球銀行

## 旅行業のあり方を見直して新たな観光ビジネスモデルを構築

● 当社は、長年にわたり沖縄発着の旅行業・観光事業を行っており、沖縄より県内・国内・海外へ、また国内外の観光客の方を沖縄へのご案内しています。

● 現在の旅行業は、代理店が宿泊・交通・観光事業者より持ち込まれた企画を万人受けするプランにして、マス・マーケティングで販売することが主流のモデルとなっています。これが、需要の偏りや客層の不一致、オーバーツーリズム等、沖縄の地域・観光事業者が抱える課題の一因ではないかという問題意識を持っていました。

● そうした中、コロナの影響で売上が8割減少し、事業の縮小も余儀なくされたことを機会に、事業のあり方を見直して地域主導型観光ビジネスモデルを構築する決断をしました。

## 利用者にも観光事業者にも価値を提供するツーリストDX戦略

● 航空券(変動型運賃)や宿泊、レンタカー、各種観光コンテンツ等を、利用者が自由に組み合わせることで予約できるプラットフォームを開発します。ここに各事業者が企画や情報を登録し、自社のサイトへ入口を設置することで、自社の独自性を活かしたプランの発信・販売を可能にします。旅行会社の強みを活かしたワンストップのサービス実現を目指します。

● これまでの出発地頼みの企画販売ではなく、受入側が能動的に市場へ的確にアプローチすることで各事業者の高付加価値化を図り、事業者と当社双方の収益向上に繋がります。

● 補助事業でシステム開発とサーバー構築への投資を行い、補助事業終了後5年目で新規事業の売上比率10%を計画しています。

## 地域が主体となって関わる機会を提供し、観光発展に寄与する

● この取り組みは、単に売上減をカバーする新たな販売機会の獲得よりも、沖縄という地域の立て直しを目指しています。観光地が主体となって地域の魅力を発信できる機会を提供することで、例えば規模が小さくて旅行商品として扱えなかった地域イベント等の素材でも、付加価値の高い新たなサービスにすることが可能になります。

● これまでの旅行商品は、企画を持ち込めば代理店が販売してくれましたが、新たな取組では自らアプローチし、顧客を獲得していく必要があります。地域の事業者に寄り添い、一緒に解決しながら進めて行くことで、沖縄の観光発展に寄与したいと考えています。